

食の安全推進のためのタウンミーティング結果

開催日:令和3年11月1日(月)
場 所:藤枝市保健センター
主 催:静岡県
当日参加人数:19人

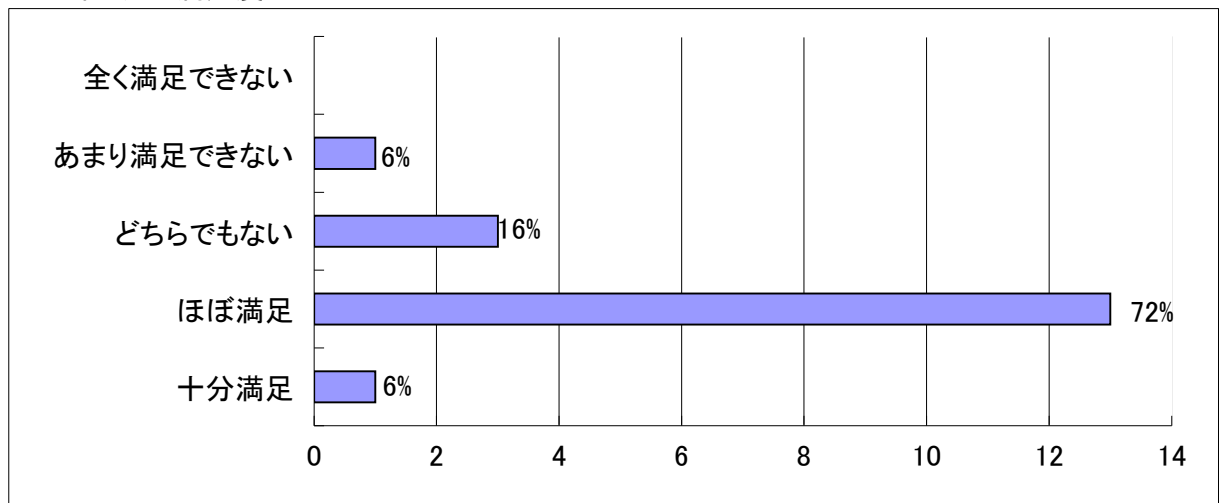
I 参加者

(1)男女比

男性	0人
女性	19人
合計	19人

II タウンミーティングについて

(1)タウンミーティングの満足度



III 意見・感想(アンケートから抜粋)

- 施策を知る機会は少ないと思うので、貴重な時間だった。
- 地産地消をもっとPRしてほしい。
- 食品表示について、消費者ももっと気を使うべきだと思うが、わかりやすい表示について今後とも対応をお願いします。
- 家庭菜園で消毒を使用せず野菜を作っているが、消毒を使わないことによるフン等の食中毒があることを初めて知った。
- 生活の中で起こりうる具体例を取り入れて話をしてほしい。
- 時間が足りなかった。

IV 参加者からの質問(2問)+意見(1問)

○食品の原料原産地表示で、国内製造と書かれている場合、原材料も国産ということになるのか。

(県回答)国内製造と書かれている場合は、加工原材料が国内で造られたことを意味するので、原材料が国産であるという意味ではない。原材料の産地等を知りたい場合は、表示責任者に問い合わせることができる。

○県のGAP認証は誰が行っているのか

(県回答)普及指導員の資格を持ち、更にGAP研修を受けた県の農林事務所職員が行っている。

○アレルギー表示の国際化に対応したシートをもっと活用したほうがよい。

(県回答)取組のきっかけがオリパラだったため、開催地区の東部ではホテルや土産物屋などに下敷きやポスターを配布し、使用方法の講習会を開催した。今後、再び外国人の訪問が増えることが予想されるので、他の地区でも普及させていきたい。